

令和 7 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 2 月 1 7 日
江別市立江別第二小学校

1 本年度の重点目標

「なりたい自分になるために」、
自分の思いを語り、友だちの考えを認め、主体的に学ぶ子 ～紡ぐ～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	1. 重点目標の達成に向けた組織的な学校運営 ■教職員評価 肯定評価 100% ■保護者評価 肯定評価 96.8%	A	・重点目標（子どもに育成する資質・能力）の達成度に基づく学校改善を図るために、実施→評価→検証・改善を確実に行う。	A	A
	2. 家庭・地域との連携による、信頼される学校 ■教職員評価 肯定評価 ・情報発信 100% ・保護者や地域との連携 97.4% ■保護者評価 肯定評価 96.1%	A	・学校だよりやHP、メール等を通じて、学校の方針や教育活動の様子を発信する。 ・PTAボランティア活動や二小っ子見守り隊等を通じて、教育活動推進に協力いただくとともに、子どもの様子を知っていただく。	A	A
教育課程・学習指導	3. 確かな学力を身につけさせる学習指導 ■教職員評価 肯定評価 ・わかるできる授業づくり 94.7% ・基礎基本の定着 100% ・個に応じた指導 97.4% ・学校改善プランの取組 100% ■保護者評価 肯定評価 94.7% ■児童評価 肯定評価 ・自分の考えを持つ 91.8% ・友達の考えを聞く 92.9%	B	・学校改善プラン（①子ども主導の授業への改善 ②基礎基本の定着③家庭学習習慣の定着）に基づき、全学級での統一した学習指導を行う。	A	A
	4. ICTを効果的に活用した、個々の学びや、協働的な学び（対話）の充実 ■教職員評価 肯定評価 100% ■保護者評価 肯定評価 94.7%	A	・ICTのメリット（手軽さ等）とデメリット（書くことの減少等）を整理し、アナログを重視する場面を具体的に検証する。 ・ICT研修や教師間の学び合いを通して、ICTの効果的な活用を進める。	A	A

	5. 「ふるさと江別」を学ぶ特色ある教育活動の推進 ■教職員評価 肯定評価 100% ■保護者評価 肯定評価 95.5%	A	・地域人材や施設を十分に活用し、出前授業や校外学習に積極的に取り入れる。	A	A
生徒指導	6. 児童の自主・自律的な活動を育む教育活動を推進する。 ■教職員評価 肯定評価 97.4% ■保護者評価 肯定評価 96.7% ■児童評価 肯定評価 ・挑戦する 89.6% ・自分から取り組む 89.7%	B	・児童会活動や行事の際には「なりたい自分」を意識させて、自分たちで考える機会を保障する。	A	A
	7. 「いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止及び早期解消への組織的な取組を推進する。 ■教職員評価 肯定評価 100% ■保護者評価 肯定評価 92.4% ■児童評価 肯定評価 ・誰にでも優しくする 90.3% ・友達と協力する 94.9%	A	・いじめは絶対に許さないことを、集会や学級指導を通じて、全職員で定期的に指導する。 ・いじめの疑いや生徒指導は常に複数で対応することを徹底し、早期着手・保護者との連携・組織的対応を柱に解決を図る。	A	A
	8. コーディネーターを中心に教育相談を適切に行い、特別支援や不登校対応を組織的かつ迅速に行う。 ■教職員評価 肯定評価 ・特別支援教育 97.4% ・不登校対応 97.4% ■保護者評価 肯定評価 91.9% ※人的・物的環境	A	・心の教室相談員・支援員等も含めた全職員で児童・保護者に寄り添うことができるように、情報の共有を定期的に行い、同じ方針で関わられるようにする。	A	A
	9. 校種間連携を図り、学びの連続性を意識した指導を行う。 ■教職員評価 肯定評価 97.4%	A	・中学校と連携し、実態と地域・保護者の願いも汲みながら、校区の指導方針の改善を図る。 ・近隣の子ども園等と職員間の交流および授業観察を相互に行い、児童と幼児の交流を推進する。 ・北翔大との地域連携の具体的な内容を整理し、互いにメリットある連携を進める。	A	A
小中一貫教育					
その他	10.健康・安全教育の充実を図る。 校内外の安全確保 ■教職員評価 肯定評価 100% ■保護者評価 肯定評価 97.4% 健康教育・食育 ■教職員評価 肯定評価 100% ■保護者評価 肯定評価 95.8%	A	・教職員の危機管理意識を高め、マニュアルに基づく指導を徹底する。 ・訓練の反省をもとに、マニュアルの妥当性を検証し、改善を図る。 ・保健日よりや食の授業を通じて、自分の健康を考える機会を充実させる。	A	A

	<p>11. 働き方改革による教職員の働きが いと、教育の質的向上を図る。</p> <p>■教職員評価 肯定評価 89.5%</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生成A I の活用や校務のデジタル化を一層進め、業務の効率化を図る。 ・効率偏重とならないよう、活動のねらいを踏まえた改善に取り組む。 	<p>B</p>	<p>A</p>
--	---	-----------------	---	-----------------	-----------------

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない

【評価項目の設定、達成状況改善及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・先生方の働き方改革は、制度も含めて、さらに取組を進めてほしい。先生方が負担なく働けることを望む。
- ・児童のマナー、挨拶の向上を望む。いつでも誰とでもきちんとできることを願う。
- ・不登校児童への支援は難しい面が多いが、今後も児童や保護者に寄り添った支援を望む。
- ・いじめについては、学校では相手を思いやった言動が見られるが、家庭ではオンラインゲームなどを通して「死ね」などの言葉が飛び交っており、言葉が軽くなっていることを危惧している。学校で道徳などを通じて学んでいる「相手を大切にする知識」と、日常生活（実践）が乖離していることを懸念している。今後も学校と家庭が連携して、相手と自分を大切にする言動を育てる指導の充実を望む。